

## 平成 27 年度 病床機能報告結果 （診療実績等）における考察部分の再掲

### （各医療機能区分の病床数について）

- ・ 将来の必要病床数と直近の病床機能報告の結果を比べると、高度急性期と回復期が不足しているのに対して、急性期が過剰となっている。
- ・ 現在、入院医療で対応している患者のうち将来的に在宅医療へ移行することが可能と考えられる患者は、平成 37 年で 167 人と推計されており、新たに在宅医療の提供体制の整備が必要である。

### （算定する入院基本料届出病床数について）

- ・ 一般病棟 7 対 1 入院基本料を届出している病院はない。

### （認定・届出等について）

- ・ 在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院の届出を行っている病院はない。

### （手術の状況について）

- ・ 手術を行っているのは、むつ総合病院だけである。

### （がん、心筋梗塞、分娩への対応状況について）

- ・ 悪性腫瘍の手術を行っているのは、むつ総合病院だけである。
- ・ 心筋梗塞の手術（経皮的冠動脈形成術）を行っているのは、むつ総合病院だけである。
- ・ 分娩取扱を行っているのは、むつ総合病院だけである。

### （救急医療の実施状況について）

- ・ 救急車受入件数が年間 750 件を超えているのはむつ総合病院だけであり、年間約 1,500 件の受入れを行っている。